

ご町内のみなさん。おはようございます。こちらは、日本共産党でございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき本当にありがとうございます。

今日は、7月におこなわれる参議院選挙で、日本共産党へのお力添えをお願いにお伺いいたしました。大変お騒がせいたしますが、しばらくの間ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。

今のデフレ不況から抜け出す道はどこにあるのでしょうか。

それは、働く人の賃金引き上げと安定した雇用の拡大で家計を温めることにあるのではないのでしょうか。

しかし、安倍自公政権がすすめているデフレ対策なるものは、日銀にお札を大量に発行させてインフレを起こし、意図的に物価を引き上げるといふ乱暴極まりないものです。

その結果、ガソリンや食料品などの値上げがあいつぎ、私たちの暮らしは、ますます苦しくなっています。そのうえ、消費税や社会保障の負担が増えるなら、家計は一層冷え込み、日本経済は今よりさらに深刻な事態に陥るのではないのでしょうか。

私たち日本共産党は、このような安倍自公政権に、参議院選挙でノーの審判を下し、家計を温める、経済の民主的改革を実現するため、全力をつくしてまいります。

家計を温める、経済の民主的改革とは、第一に、消費税の増税をストップし、富裕層や大企業に能力に応じた負担をさせる、第二に、大企業が貯めこんだ兆円もの内部留保を、賃金や下請け単価の引き上げに使わせる、第三に、農業を国の基幹産業に位置づけ、価格保障などを充実させる、というものです。

この道こそ、今のデフレ不況から抜け出す確かな道ではないのでしょうか。

私たちは、その実現のため、みなさんと力をあわせ、全力をつくしてまいります。

さて、みなさん。

安倍自公政権は、維新の会や、みんなの党とともに、憲法9条を改悪し、日本をアメリカと一緒に戦争できる国にしようとしています。

しかし、国民の過半数は、憲法9条の改悪に反対しています。そこで、彼らは、憲法改定の発議ができる要件を、国会の3分の2の賛成から2分の1に変えてハードルを下げようとしています。

しかし、国の最高法規である憲法改定の3分の2の要件は、時の権力者が、自分の都合にあわせて、簡単に変えることができないようにしたもので、どこの国でも同じ様に定められています。

そのことから、改憲を主張している学者のみなさんからも、憲法改定要件の緩和に反対する声が相ついでいます。

私たち日本共産党は、今度の参議院選挙で、自公、維新、みんなの党にノーの審判を下し、憲法9条の改悪を断念させるため、みなさんと力をあわせ、全力をつくしてまいります。

ご町内のみなさん。

私たち日本共産党は、暮らしの問題でも、平和の問題でも、みなさんの願いに必ず応えます。

そのためにも、7月の参議院選挙で、日本共産党を、大きく躍進させていただきませう、心からお願いいたします。お訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。大変お騒がせいたしました。どうか、よろしくお願いいたします。